

指定管理者のモニタリングシート

1、基本情報

確認年月日:令和7年11月5日

施設名	盛岡市立山岸老人憩いの家		
住所	盛岡市山岸六丁目13番13号		
指定管理者名	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団	所管課名	長寿社会課
指定管理料(年額)	6,688,159円		
今回確認期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 11 月 5 日 まで (7 ヶ月間)		

2、業務の履行状況の確認について

(1)稼働実績(令和7年4月1日から令和7年10月31日)

項目		今期計画	今期実績
開館日数		360 日	214 日(7 ヶ月)
延べ利用者数	個人	1,126 人	2,269 人
	団体	6,167 人	4,778 人
主要事業開催回数	会報いこい継続発行	7 回	7 回
	人形鑑賞会	2 回	2 回
	地元写真家展示会	4 回	3 回
	マーケット、ウッドクラフト展、演劇発表会他	5 回	5 回
	文化祭、特別講座、いきいき交流会、料理教室	6 回	10 回

(2)管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	適 ・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	適 ・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適 ・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適 ・要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	適 ・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適 ・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適 ・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適 ・要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	適 ・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適 ・要改善
危機管理		
	危機対応の手順は整備されているか。	適 ・要改善
管理確保力	適正な人数の職員が配置されているか。	適 ・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適 ・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適 ・要改善

(2)管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報	施設で取り扱う個人情報は、特記仕様書に基づき扱われているか。	適 ・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	適 ・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について、適時に協議がされているか。	適 ・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	適 ・要改善

3、サービスの質の確認について

(1)サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適 ・要改善
	利用者への対応のマナーは適切か	適 ・要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適 ・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適 ・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適 ・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適 ・要改善
要望	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか	適 ・要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか	適 ・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適 ・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適 ・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適 ・要改善

4、指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

・サークル間の相互理解、親睦を図るため「会報いこい」を毎月発行。各種行事、サークル活動日程などを継続的に掲載。 ・新規サークルの積極的な受入れ。(例:岩手盲聾の会等)従来からのサークル活動も継続的に支援。 ・集客ステージ等を使い、主催事業を計画的に実施。常に新しい視点で事業を企画。 ・浅岸和歌荘包括支援センターと提携し、「シルバーリハビリ体操会(いこいの会)」を毎月実施。 ・地元町内会と連携し、「かふえいこい」にて講演会、ニュースポーツ、料理教室などを実施。 ・文化的な活動を促進するため、図書館機能を充実させた。2025年3月末現在の貸出図書数:1,354冊。1996年の開館以来、最高の年間貸出数を達成。3年連続1,000冊突破となった。今年度も年間1,000冊突破できる見込み。 ・風呂利用者は若干減少しているが、サークル利用者は微増。今年度は年間利用者数1万人を3年連続で達成できる見込み。(昨年度は12,135人/年)
--

5、モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	指定管理者	所管課
・接客のレベルアップにより親しまれる雰囲気作りを目指す。 ・会報いこいの継続的な発行により相互理解による会員の親睦促進を目指す。 ・主催事業の継続的な実施を目指すと共に新規事業を企画する。(例:書道展) ・貸出図書の拡充を目指す。図書館等からの寄贈圖書を積極的に受け入れ、文化的なレベルアップを目指す。 ・大規模修繕後の設備維持管理を徹底し、利用しやすい環境を整える。	各項目において適切な管理運営が行われていることが確認できた。新規のサークルを積極的に受け入れるほか、地域と連携を図り地域交流の場として事業を開催するなど工夫した運営が確認できた。また、利用者が使いやすいよう環境整備、図書機能の充実を図り、利便性向上に向けた工夫に努めている。 今後も高齢者等の生きがい活動等の拠点として、適正な管理運営に努めていきたい。	